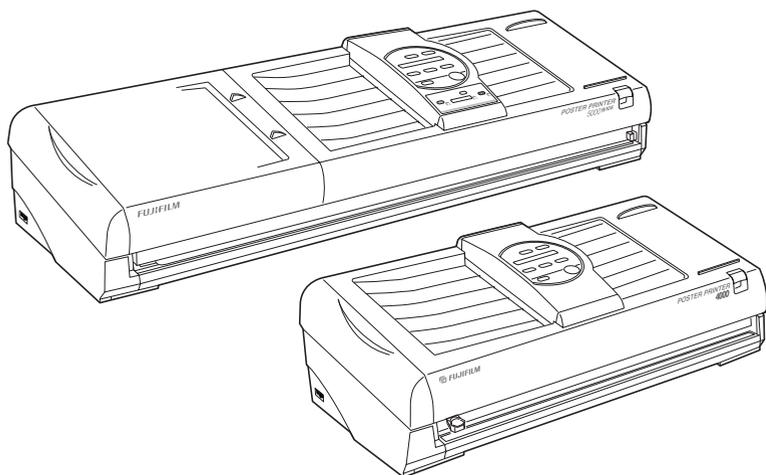
FUJIFILM

取扱説明書

POSTER PRINTER 5000WIDE
プリンタドライバ

POSTER PRINTER 3000/4000シリーズ
USB対応
インターフェースキット

for Windows2000/XP/Vista(32bit)/7(32bit)

第3版

SP554

ご　注　意

ソフトウェア使用約款

富士フイルムビジネスサプライ株式会社（以下、当社）と本製品をご購入いただいたお客様（以下、お客様）は、下記条項のソフトウェア使用約款を締結させていただきます。

1. 当社は本使用約款を了承し、ユーザ登録カードを返送されたお客様にプリンタドライバソフトウェアの使用を許諾します。
2. プリンタドライバソフトウェアはお客様自身にかぎり使用することができ、お客様以外の第三者が使用することはできません。
3. プリンタドライバソフトウェアをバックアップ保有の目的以外で複写することはできません。
4. プリンタドライバソフトウェアの内容の全部または一部を改変することはできません。
5. プリンタドライバソフトウェアが購入時に正常に動作しない場合、あるいは梱包内容に不足があった場合には購入された販売店あるいは当社までご連絡ください。無償で交換致します。
6. お客様がプリンタドライバソフトウェアを運用された結果生じたデータの破損、その他の破損については当社は責任を負いません。
7. 本約款は、お客様がプリンタドライバソフトウェアを受領した日から成立します。
8. 本約款に定めていない事項は著作権法および関連法規に従うものとします。

---

1. 富士フイルムビジネスサプライ（株）は、このマニュアルおよびプリンタドライバソフトウェアの品質、性能、商品価値または特定の使用目的に対する適合性に関して、いかなる保証も行ないません。
2. 富士フイルムビジネスサプライ（株）は、このマニュアルおよびプリンタドライバソフトウェアの運用した結果について、一切責任を負いません。
3. このマニュアルに記載されている事項、およびプリンタドライバソフトウェアは将来予告なしで変更することがあります。

版　権

商標の表示

以下に続く商標表示に一部に米国の企業のものがあり、その他の国においては、登録商標、あるいは一般に通用する商標とならない場合がありますので、予め御了承ください。

Microsoft、MSは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
その他の社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

目　次

第一章 はじめに

ようこそ

このたびはPOSTER PRINTERシリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本製品によりPOSTER PRINTER 3000／3000WIDE/4000／4000WIDE（以降PP4000と表記）／5000WIDE（以降PP5000Wと表記）をお手持ちのWindowsパソコンの大サイズプリンタとしてご利用いただけます。
はじめてパソコンをご使用になられる場合には、パソコンに付属しているマニュアルなどをお読みになって、基本操作や用語をご理解ください。

システム構成と動作環境

本製品を使用するために必要なシステム環境を次に示します。
インストールを始める前に確認してください。

- ● OS　：Windows2000／XP／Vista（32bit）／7（32bit）
- ● CPU　：Pentiumプロセッサ1GHz以上
- ● メモリ：512MB以上
- ● HDD　：100MB以上の空き容量

本取扱説明書の表記法

◆ダイアログボックス内のボタンや名称は「OK」、「ファイル名」のように「　」で囲んで表記します。
◆メニュー名やメニューコマンドは【ファイル】、【プリンタの設定】のように【　】で囲んで表記します。
◆「注意」していただきたいことがある場合は項目の先頭に注意を表示します。
◆操作上で「参考」になることや「ヒント」がある場合に項目の先頭にヒントを表示します。

第二章 インストール〈PP3000/4000シリーズ〉

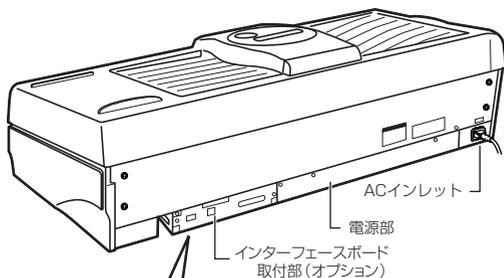
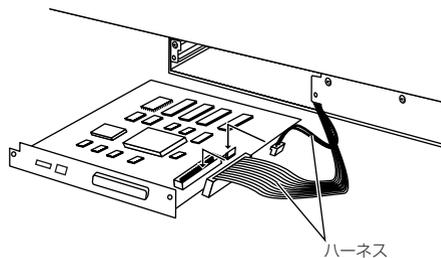
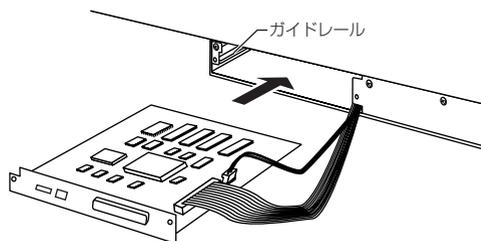
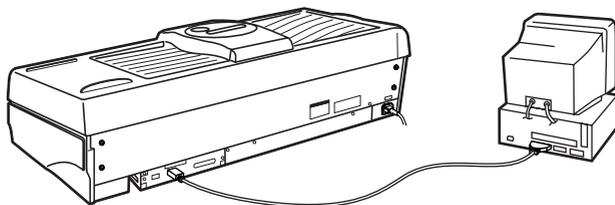
1. PP3000/4000シリーズとWindows

インターフェースボードが装着されているPP3000／PP3000W／PP4000／PP4000WとWindowsが導入されているパソコンを接続することにより、大きなサイズのプリントを得ることができます。
しかし、そのためにはインターフェースボードの導入とプリンタドライバをWindowsシステムにインストールする必要があります。
本書では **1.インターフェースボードのセットアップ**
2.ドライバのインストール
の順で説明しています。
プリントを行うには、各インストールが完了している必要がありますので、本書をよくお読みいただき、正しくインストールを行ってください。

2.インターフェースボードのセットアップ

※ここではPP4000について説明します。
PP3000/4000シリーズ全てについて同じ方法で設定出来ます。

1 PP4000の電源をOFFにします。

2 PP4000の背面のオプションスロットのネジ2本を取り、カバーを外します。

3 カバー内部にあるハーネス（ケーブル）2本を引きだし、インターフェースボードのコネクタに取り付けます。
ハーネスは、カバー内部にテープで留められていますので、テープを取って引きだしてください。

4 インターフェースボードをガイドレールに沿って差し込み、ネジ2本を取り付けて固定します。

5 インターフェースボードのコネクタと、パソコンをプリンタケーブル又はUSBケーブルで接続します。

3.ドライバのインストール

USBインターフェースを使用する場合

3-1.USBドライバのインストール（⇒P.8 参照）
3-2.プリンタドライバのインストール（⇒P.9 参照）
の順で行ってください。

パラレル（プリンタ）インターフェースを使用する場合

3-2.プリンタドライバのインストール（⇒P.9 参照）
を行ってください。

注 意

USB接続の場合
PP4000をUSB接続で使用する場合、パソコンの電源をONにして、Windowsの起動を確認してからPP4000の電源をONにしてください。

3-1. USBドライバのインストール

1 付属のプリンタドライバのCD-ROMをディスクドライブにセットし、PP4000とコンピューターをUSBケーブルで接続し、機器の電源を入れます。

2 USB ドライバは自動的にインストールされます。

⇒USB ドライバインストール後、プリンタドライバのインストールを行います。⇒3-2プリンタドライバのインストール（P.9 参照）

3-2.プリンタドライバのインストール(WindowsXP)

1 付属のプリンタドライバのCD-ROMをディスクドライブにセットし、CD-ROM内のPPsetup.exeファイルをダブルクリックします。

2 【プリンタの追加ウィザード】が起動しますので「次へ」をクリックします。

3 「ローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外し「次へ」をクリックします。

4 プリンタを接続するポートを選択します。

☞ヒント

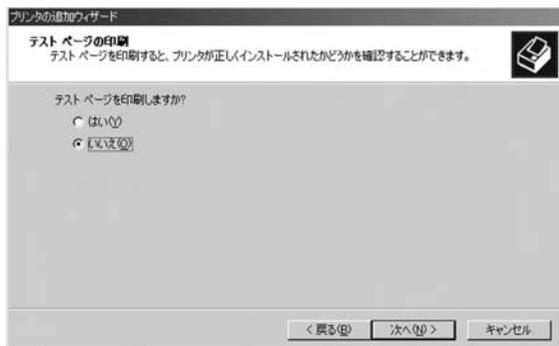
＊パラレルインターフェースを使用する場合は「LPT1」を選択します。
＊USBインターフェースを使用する場合は「USB00X Virtual printer port for USB」を選択します。

※00Xは使用するUSBのポート番号を選んでください。

5 プリンタを選択します。ご使用になるプリンタを選択してください。

6 「このプリンタを共有しない」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。

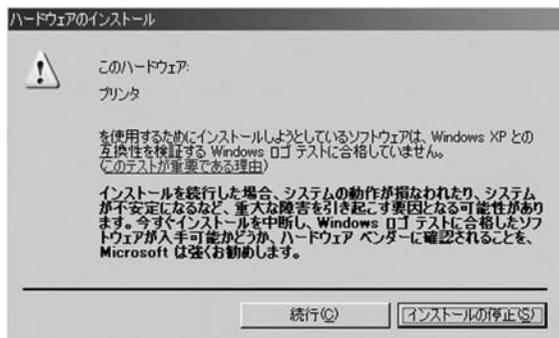
7 テストページを印字することが出来ます。

「はい」をチェックしておけばテストページを印字します。
「次へ」をクリックしてください。

WindowsVista(32bit)/7(32bit)の場合

インストールの途中に下図のメッセージが表示されますが、「このドライバソフトウェアをインストールします」「このプログラムは正しくインストールされました」を選択して下さい。

8 設定の確認画面が表示されます。

「完了」をクリックしてください。

9 【デジタル署名が見つかりませんでした】警告ダイアログが表示されますが、インストールに問題ありませんので「続行」をクリックしてインストールを完了します。

第三章 インストール〈PP5000W〉

1. PP5000WとWindows

PP5000WとWindows2000/XP/Vista(32bit)/7(32bit)が導入されているパソコンを接続することにより、大きなサイズのプリントを得ることができます。
しかし、そのためにはプリンタドライバをWindowsシステムにインストールする必要があります。
本書ではドライバのインストールについて説明します。
プリントを行うには、各インストールが完了している必要がありますので、本書をよくお読みいただき、正しくインストールを行ってください。

2.ドライバのインストール

USBインターフェースを使用する場合

2-1.USBドライバのインストール (⇒P.13 参照)
2-2.プリンタドライバのインストール (⇒P.14 参照)
の順で行ってください。

ネットワークを使用する場合

2-3.PP5000Wのネットワーク設定 (⇒P.17 参照)
2-4.プリンタドライバのインストール (⇒P.21 参照)
の順で行ってください。

USB接続の場合

PP5000WをUSB接続で使用する場合、パソコンの電源をONにして、Windowsの起動を確認してからPP5000Wの電源をONにしてください。

2-1. USBドライバのインストール

1 付属のプリンタドライバのCD-ROMをディスクドライブにセットし、PP5000Wとコンピューターをケーブルで接続し、機器の電源を入れます。

2 USB ドライバは自動的にインストールされます。

⇒USB ドライバインストール後、プリンタドライバのインストールを行います。

(⇒2-2プリンタドライバのインストール参照/P.14)

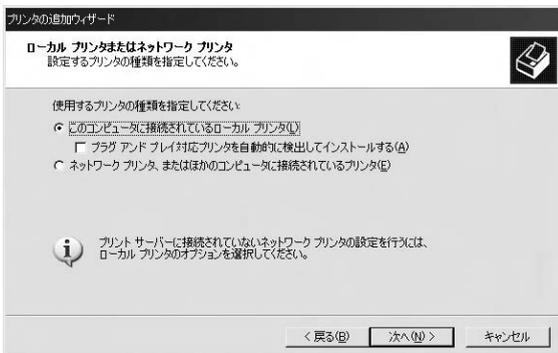
2-2.プリンタドライバのインストール

1 付属のプリンタドライバのCD-ROMをディスクドライブにセットし、CD-ROM内のPPsetup.exeファイルをダブルクリックします。

2 【プリンタの追加ウィザード】が起動しますので「次へ」をクリックします。

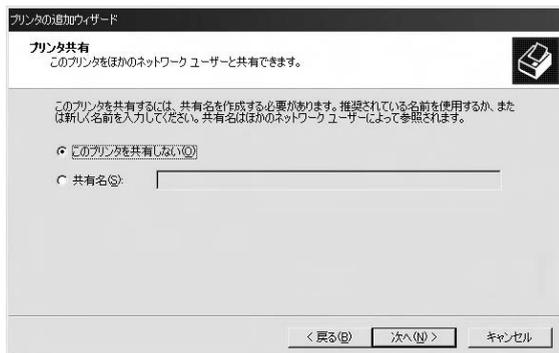
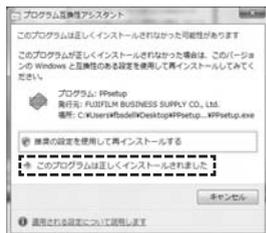
3 「ローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外し「次へ」をクリックします。

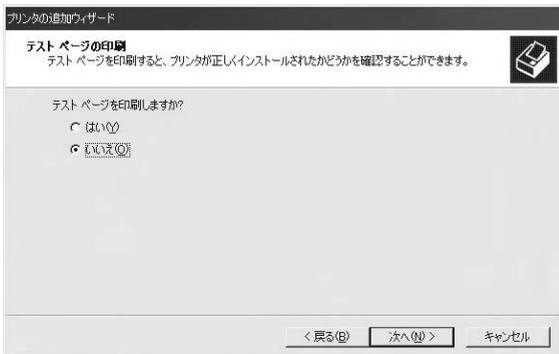
4 プリンタを接続するポートを選択します。

ヒント

USBインターフェースを使用する場合は「USB00X Virtual printer port for USB」を選択します。

※00Xは使用するUSBのポート番号を選んでください。

5 プリンタを選択します。ご使用になるプリンタを選択してください。

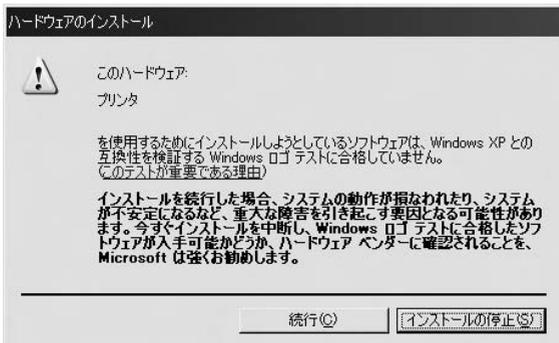
6 「このプリンタを共有しない」をチェックし、「次へ」をクリックします。

7 テストページを印字することが出来ます。

「はい」をチェックしておけばテストページを印字します。
「次へ」をクリックします。

8 設定の確認画面が表示されます。

「完了」をクリックします。

9 【デジタル署名が見つかりませんでした】警告ダイアログが表示されますが、インストールに問題ありませんので「続行」をクリックしてインストールを完了します。

WindowsVista(32bit)/7(32bit)の場合

インストールの途中に下図のメッセージが表示されますが、「このドライバソフトウェアをインストールします」「このプログラムは正しくインストールされました」を選択して下さい。

PP5000Wに設定するIPアドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクはあらかじめネットワーク管理者へおたずねの上、決定しておいてください。
PP5000Wプリンタドライバを使用する場合は、手動設定を行なってください。

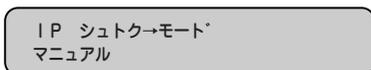
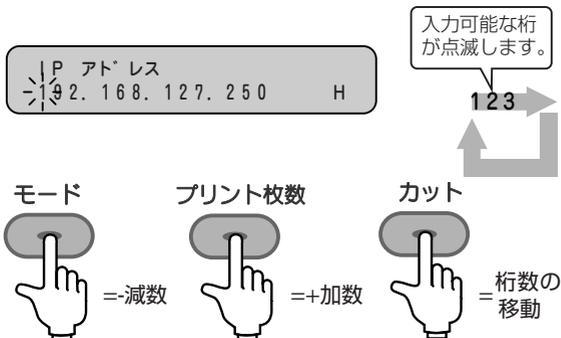
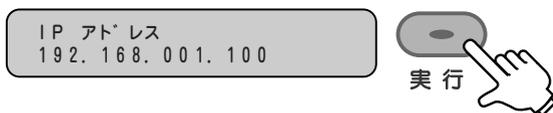
2-3.PP5000Wのネットワーク設定

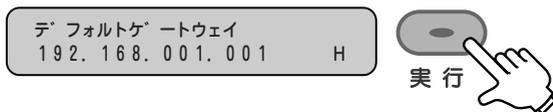
1 初期画面で［機能選択］キーを7回押して、ネットワークセットアップ画面を表示します。
［実行］キーを押します。

```
カンネツシ　　　　　ジ゛ド゛ウ　3
915　　　ヒョウジ゛ュン　　　01
```

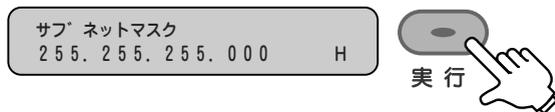
```
ネットワーク　セットアップ゜→ジ゛ッコウ
```

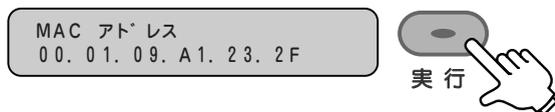
2 「ネットワーク設定」画面を表示します。
［モード］キーを押して、マニュアルを選択します。
［実行］キーを押します。

```
ＩＰ　シュトク→モード゛
マニュアル
```

3 「IPアドレス入力」画面を表示します。
IPアドレスの数値を入力します。
（例）192.168.1.100に設定する場合

4 「IPアドレス」画面で数値入力後、［実行］キーを押します。

5 「デフォルトゲートウェイ入力」画面を表示します。
デフォルトゲートウェイ数値を入力します。

設定・入力は 3 を参照してください。入力後、［実行］キーを押します。
（例）192.168.1.1に設定する場合

6 「サブネットマスク入力」画面を表示します。サブネットマスク数値を入力します。

設定・入力は 3 を参照してください。入力後、[実行]キーを押します。
(例) 255.255.255.0に設定する場合

```
サブ゛ネットマスク
255.255.255.000      H
```

7 「MACアドレス」画面を表示します。MACアドレスの数値入力はできません。[実行]キーを押します。

```
MAC アト゛レス
00.01.09.A1.23.2F
```

8 「ネットワーク設定」画面を表示します。[機能選択]キーを押します。

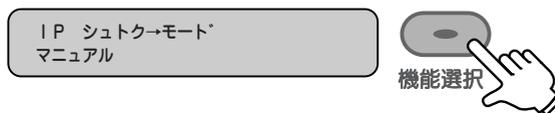
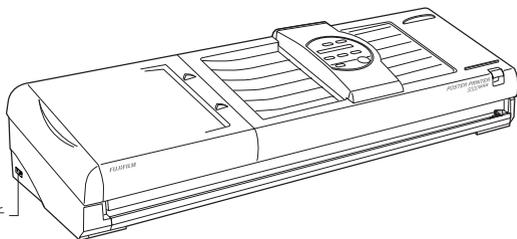
```
IP シュトク→モート゛
マニュアル
```

9 ネットワークセットアップ画面を表示します。
[クリア] キーを押します。

ネットワーク　セットアップ゜→シ゛ッコウ

10 初期画面に戻ります。

カンネツシ　　　　シ゛ド゛ウ　3
915　　ヒョウシ゛ュン　　01

11 電源を切ります。
設定後は必ず電源を切ってください。
電源をOFF/ONすることで、ネットワークが設定されます。

注 意

DHCP環境について不明な場合は、ネットワーク管理者にお尋ねください。

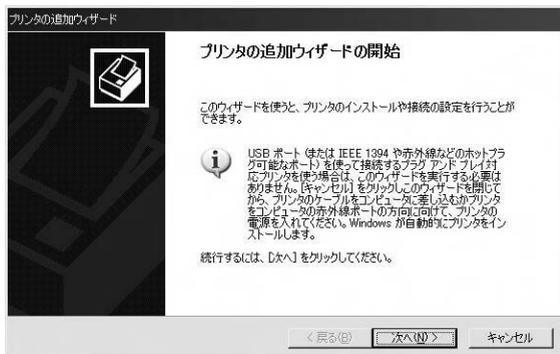
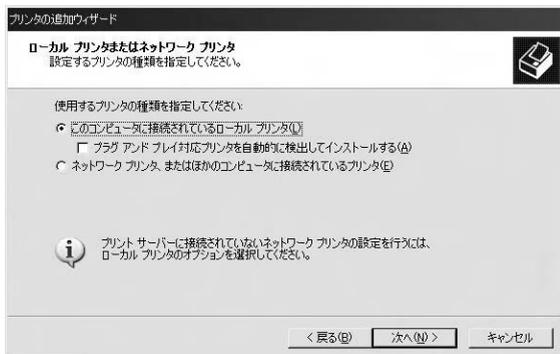
注 意

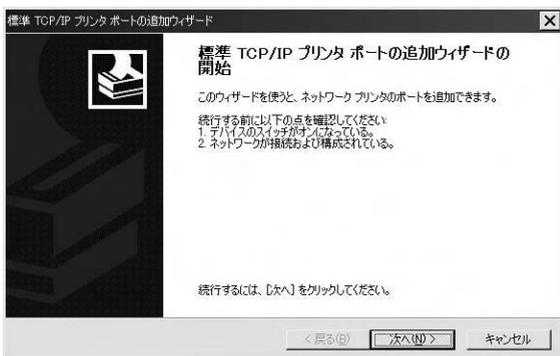
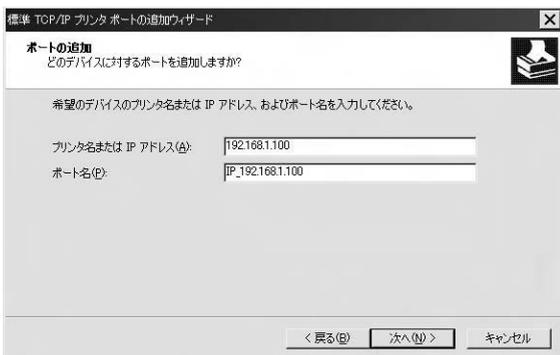
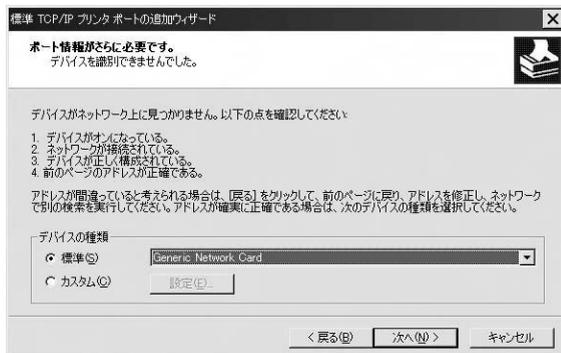
ネットワークの設定及び取扱い方などの問い合わせは下記に連絡をお願いします。

富士フイルム
ビジネスサプライ株式会社
カスタマーサポートセンター
フリーダイアル 0120-645-504
お電話受付/月曜日～金曜日
10：00～12：00
13：00～17：00
（祝日、夏期休暇、年末年始を除く）

2-4.プリンタドライバのインストール(WindowsXP)

1 付属のプリンタドライバのCD-ROMをディスクドライブにセットし、CD-ROM内のPPsetup.exeファイルをダブルクリックします。

2 【プリンタの追加ウィザード】が起動しますので「次へ」をクリックします。

3 「ローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外し「次へ」をクリックします。

4 プリンタを接続するポートを選択します。
「TCP/IP Port」を選択して「次へ」をクリックします。

5 【標準 TCP/IP プリンタの ポートの追加ウィザード】が起動しますので「次へ」をクリックします。

6 PP5000Wで設定したIPアドレスを入力して「次へ」をクリックします。

7 デバイスの種類を「標準」（デフォルト）のままで、「次へ」をクリックします。

8 設定の確認画面が表示されます。「完了」をクリックします。

9 プリンタを選択します。ご使用になるプリンタを選択して「次へ」をクリックします。

10 【プリンタ】フォルダに表示されるプリンタ名を変更することが出来ます。
変更の必要がなければそのまま「次へ」をクリックします。

11 「共有しない」を選択して「次へ」をクリックします。

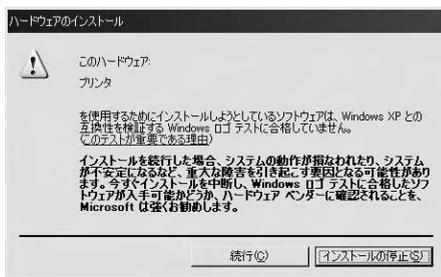
12 テストページを印字することが出来ます。
「はい」をチェックしておけばテストページを印字します。
「次へ」をクリックします。

13 設定の確認画面が表示されます。「完了」をクリックします。

14 【デジタル署名が見つかりませんでした】警告ダイアログが表示されますが、インストールに問題ありませんので「続行」をクリックしてインストールを完了します。

ヒント

WindowsVista(32bit)/7(32bit)の場合

インストールの途中に下図のメッセージが表示されますが、「このドライバソフトウェアをインストールします」「このプログラムは正しくインストールされました」を選択して下さい。

第四章 プリンタドライバ・リファレンス

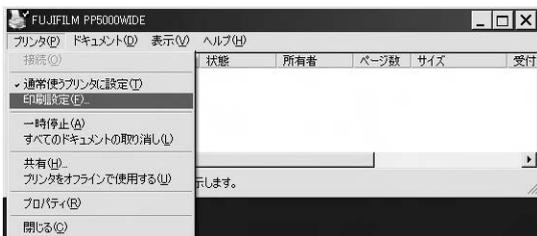
1.プリンタドライバの設定

※ここではPP5000Wついて説明します。
PP3000/4000/5000シリーズ全てについて同じ方法で設定出来ます。

1 【マイコンピュータ】から【プリンタ】フォルダを選択します。

【プリンタ】ダイアログボックスが表示されます。

2 ご使用になるプリンタを選んで開きます。

3 【プリンタ】メニューより【印刷設定】を選びます。

2.プロパティダイアログ

※ここではPP5000Wついて説明します。
PP3000/4000/5000シリーズ全てについて同じ方法で設定出来ます。

■ 用紙

PP5000Wでプリントする用紙の設定を行います。

[記録紙サイズ]
PP5000Wにセットされている記録紙のロールサイズを指定します。実際にセットしているロールサイズと一致していないと、期待したプリント結果が得られないことがありますので十分ご注意ください。

[用紙サイズ]
プリントする用紙サイズを指定します。使用できるサイズは指定した記録紙サイズによって異なります。ここで表示される用紙サイズリストへの追加や削除およびユーザ定義サイズの追加などは「編集 (E)...」ボタンをクリックしてください。

[原稿サイズ]
アプリケーションで使用する用紙のサイズを指定します。用紙サイズと原稿サイズが独立していることにより、プリンタドライバにより自動的に拡大を行うことができます。例えば、用紙サイズをA0、原稿サイズをA4に指定することができます。これは、アプリケーションによっては、A0など大サイズを取り扱うことができないものがあるためです。

用紙サイズが定型用紙のときは、[用紙サイズと同じ] かA4, A3サイズなどの一般的な定型用紙サイズを選択します。用紙サイズがユーザ定義サイズのときは、[(ユーザ定義サイズ名)] か [(ユーザ定義サイズ名)/5] を選択します。
特にユーザ定義サイズの場合、横断幕などで長い用紙を取り扱うことが多くなりますので、[(ユーザ定義サイズ名)/5] を使うことによりアプリケーションでのエラーを回避することができる場合があります。

[印刷方向]
用紙の向きを「縦」か「横」で選択します。
ここでいう[印刷方向]はアプリケーションで取り扱う用紙の向きであり、PP5000Wでプリントするときはいつも縦方向でプリントされますのでご注意ください。

[ページ間ギャップ]
ここがチェックされていると、複数ページや複数部数をプリントするとき、プリントしたページとページの間に隙間を作ります。
ここがチェックされていないと、ページとページの間に隙間を作りません。これにより複数ページを隙間なくプリントすることで長いサイズの横断幕や立て看板を作ることができます。
初期設定ではこのオプションはチェックされてます。

[カットマーク]
指定された用紙サイズの大きさにカットマークを付けてプリントします。原稿に余白が有る場合は「かぎ」マークが、余白が無い場合は「水平」マークが付きます。

[反転プリント]
白黒を反転してプリントします。

[オートカット]———※PP5000Wのみ
プリント後、自動的に用紙をカットします。
「ページ間ギャップ」のチェックを外すとカットしません。
初期設定ではこのオプションはチェックされています。

■カット位置と紙送りの関係

自動カット	カットマーク	ページ間ギャップ 有り	ページ間ギャップ 無し
有り	無し	先端余白59mm 紙送り方向 1 17mm ◀カット位置 ギャップ76mm 59mm 2 ◀カット位置 後端余白17mm	先端余白59mm 紙送り方向 1 2 ◀カット位置 後端余白17mm
無し	無し	先端余白59mm 紙送り方向 1 ギャップ76mm 2 後端余白17mm	先端余白59mm 紙送り方向 1 2 後端余白17mm

自動カット	カットマーク	カギ	水平	カギ	水平
有り	有り	先端余白59mm 紙送り方向 1 17mm ギャップ76mm 59mm 2 後端余白17mm	先端余白59mm 紙送り方向 1 17mm ギャップ76mm 59mm 2 後端余白17mm	先端余白59mm 紙送り方向 1 2 後端余白17mm	先端余白59mm 紙送り方向 1 2 後端余白17mm
無し	有り	先端余白59mm 紙送り方向 1 ギャップ76mm 2 後端余白17mm	先端余白59mm 紙送り方向 1 ギャップ76mm 2 後端余白17mm	先端余白59mm 紙送り方向 1 2 後端余白17mm	先端余白59mm 紙送り方向 1 2 後端余白17mm

—・— カット位置　┓┏ カットマーク（カギ）　＿ ＿ カットマーク（水平）

■ 用紙サイズ一覧の編集

用紙一覧への追加や削除、ユーザ定義サイズの編集などを行います。

[記録紙]
変更を加える記録紙のロールサイズを選択します。
ロールサイズ毎に用紙一覧を編集することができます。

[用紙一覧]
用紙プロパティシートで選択可能な用紙の一覧です。
削除や移動したい用紙サイズなどを選択し編集します。

[標準用紙一覧]
用紙一覧に追加することのできる標準的な定型用紙の一覧です。
追加したい用紙を選択し、「＜＜追加（A）」ボタンをクリックすることで追加を行うことができます。

[ユーザ定義サイズ一覧]
用紙一覧に追加することのできるユーザ定義サイズの一覧です。
追加したい用紙を選択し、「＜＜追加（S）」ボタンをクリックすることで追加を行うことができます。
ユーザ定義サイズの作成は、「ユーザ定義サイズ」ボタンをクリックしてください。

■ ユーザ定義サイズ

ユーザ定義サイズ用紙の登録・変更・削除などを行います。

[記録紙]
ユーザ定義サイズを登録する記録紙のロールサイズを選択します。ロールサイズ毎にユーザ定義サイズを編集することができます。

[用紙リスト]
登録したユーザ定義サイズ名を表示します。

[用紙名]
登録を行うユーザ定義サイズ名を入力します。

[用紙の幅]
定義する用紙幅を入力します。定義できる数値の範囲は以下の通りです。

915ロール紙	100.6～859.1mm（3.96～33.82inch）
B1ロール紙	100.6～589.9mm（3.96～23.22inch）
A1ロール紙	100.6～546.3mm（3.96～21.50inch）
A2ロール紙	100.6～372.4mm（3.96～14.66inch）

[記録紙幅入力]
「用紙の幅」に現在設定しているロール紙の最大幅を入力します。

[用紙の長さ]
定義する用紙の長さを入力します。定義できる範囲は以下の通りです。

100.6～3276.7mm（3.96～129.00inch）

[単位]
入力する際の単位をmmかinchから選択します。

[登録]・[変更]・[削除] ボタン
それぞれ作成したユーザ定義サイズを登録･変更･削除します。

[設定保存] ボタン
登録したユーザ定義サイズの情報をシステムに保存することができます。

[設定読込] ボタン
設定保存によって保存された情報を読み込みます。

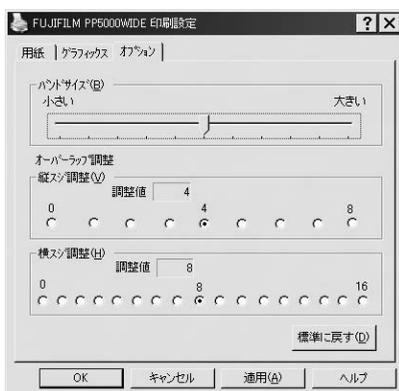
■ グラフィックス

プリントする画像の画質を制御します。

[ディザリング]
プリントのディザリング方式を選択します。
プリントの用途に応じて使い分けてください。
「ドット」は、ディザリングパターンの濃度を高くして、比較的近距離からの見た目を重視してます。
「ダイヤ」は、ディザリングパターンの濃度を低くして、比較的遠距離からの見た目を重視してます。
「誤差拡散」は、ランダムにディザリングパターンを発生します。写真などのドットデータのプリントに適しています。

[明暗の補正]
プリント結果の明るさを−20〜20までの41段階で調整することができます。調整値が低いほど暗くなり、高いほど明るくなります。

■ オプション

プリントスピードやプリントヘッドの微調整を行います。

[バンドサイズ]
バンドサイズはパソコンの搭載メモリに応じて最適なプリント速度を自動的に設定する機能です。スライダを左右に移動することでこの設定を微調整することができます。
プリント速度を優先する場合は、スライダを「大きい」、の方向へ、アプリケーションソフトウェアの動作を優先させる場合は、スライダを「小さい」の方向へ移動してください。

[オーバーラップ調整]
プリント結果にスジが目立つ場合にPP4000W／PP5000Wのプリントヘッドの調整をすることができます。

[縦スジ調整]
縦のスジ（3つのヘッド間の隙間）が目立つ場合の調整を0～8までの9段階で行います。初期値は4です。
印字部の重なり部分が目立つ場合は、調整値を減らしてください。
印字部に隙間が空いてしまう場合は、調整値を増やしてください。

[横スジ調整]
プリント方向から見て横方向にスジが目立つ場合の調整を0～16までの17段階で行います。初期値は 8 です。
印字部の重なり部分が目立つ場合は、調整値を減らしてください。
印字部に隙間が空いてしまう場合は、調整値を増やしてください。

第五章 操作方法

※ここではPP5000W説明します。
PP3000/4000/5000シリーズ全てについて同じ方法で設定出来ます。

この章では、PP5000Wプリンタドライバをより効果的に使っていただくために、ドライバの固有な情報と実際の印字手順をご紹介いたします。

■ プリンタドライバソフトウェアとは

プリンタドライバとはWindowsのアプリケーションソフトウェアで作成したグラフィックやテキストなどの文書情報を、対象となるプリンタ固有の情報に変換して、プリンタに出力するためのソフトウェアです。通常、各プリンタはそれぞれプリンタ固有の情報のみを出力するため、プリンタドライバソフトウェアはプリンタの機種ごと独立に存在します。

■ プリンタドライバの特徴

PP5000WはA1やA0サイズなど大サイズのプリントのほか、横断幕や垂れ幕などの長尺プリントもその大きな特徴です。
PP5000Wプリンタドライバは、これらの特徴をいかしたプリントを一般的なWindowsアプリケーションソフトウェアから可能にする工夫が施されています。
本来、A1やA0、または横断幕を原寸サイズのままアプリケーションソフトウェアで作成してプリントするのがもっとも好ましいのですが、ワードプロセッサーやグラフィックなどの一般的なアプリケーションソフトウェアは、作成できる文書や画像サイズに大きさの制限があるものが多く、そのままではプリントできない場合があります。
PP5000Wプリンタドライバは、プリンタドライバ本体が拡大印字機能を持つことで一般的なアプリケーションからの印字を可能にいたしました。プリンタドライバの「用紙」プロパティには、「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の2種類の用紙が用意されています。
PP5000Wプリンタドライバは、原稿サイズで作成された文書を自動的に用紙サイズに拡大して印字いたします。プリンタドライバからアプリケーションに引き渡される文書の用紙サイズは「原稿サイズ」です。例えば、「原稿サイズ」にA4,「用紙サイズ」にA0を指定すれば、アプリケーションで作成したA4の文書を拡大率等を意識することなしに、そのまま拡大印字することができます。
ただし、プリンタドライバでの拡大を行っているために、一部のアプリケーションでは期待通りのプリントができない場合があります。また、この拡大機能を利用すると、原寸印字に比べて若干プリント画質が劣化する場合がございます。

■ アプリケーションソフトウェアの選択

プリンタドライバでの拡大機能のため、作成できる文書サイズに制限のあるアプリケーションでもPP5000Wプリントは可能になります。例えば、Microsoft Wordや一太郎などの一般的なワードプロセッサ、Microsoft Excelなどのスプレッドシートでは、A1やA0などの定型サイズ（縦横比が一定）に拡大プリントすることは可能です。（各アプリケーションのバージョンなど対応が異なる場合があります）
ただし、PP5000Wのもうひとつの特徴である横断幕や垂れ幕などの長尺のプリントとなりますと、プリンタドライバの拡大機能をもちいたとしても、一般的なアプリケーションでは長さなどにかなりの制限が発生してしまいます。

☞ヒント
横断幕や垂れ幕などの長尺のプリントを行う場合は、富士フイルムビジネスサプライ（株）製のPoster Magicをお勧めします。
Poster Magicでは最大の30m長尺プリントを印字することができます。

■ ユーザ定義サイズの登録

PP5000Wプリンタドライバでは、任意のサイズの用紙サイズを登録することができます。ユーザ定義サイズをご利用される場合、以下の２点にご注意ください。

①ユーザ定義サイズの登録は、必ず【スタート】-【設定】-【プリンタ】（ＸＰの場合は【スタート】-【プリンタとＦＡＸ】）からPP5000Wプリンタドライバを選び、【プロパティ】から登録してください。アプリケーションソフトウェアのプリンタプロパティから呼び出されたPP5000Wプリンタドライバのプロパティからでは登録できません。
②ユーザ定義サイズ用紙をご使用になるときは、アプリケーションソフトウェアを起動する前に、【スタート】-【設定】-【プリンタ】（ＸＰの場合は【スタート】-【プリンタとＦＡＸ】）からPP5000Wプリンタドライバを選び、【プロパティ】の「用紙」タグでご使用になるユーザ定義サイズの「用紙サイズ」および「原稿サイズ」を選んで「適用」をクリックしておくことをお勧めいたします。
一部のアプリケーションソフトウェアでは、アプリケーション起動後に用紙を定型サイズからユーザ定義サイズに変更することを許可しないものがございますので、ご注意ください。

1.定型用紙へのプリント方法

Ａ０やＢ１など定型サイズ用紙を利用する場合の一般的な操作の流れは以下のようになります。

1 パソコンを立ち上げ、アプリケーションを起動します。

2 PP5000Wの電源を入れ、ロール紙をセットします。

必ず、ロール紙の種類（直接感熱紙、熱転写紙、HD紙）を設定します。

3 PP5000Wを使用プリンタとして選択します。

アプリケーションに使用するプリンタをPP5000Wであることを通知します。これによりアプリケーションはPP5000Wプリンタドライバ内の「原稿サイズ」リストを参照できるようになります。PP5000Wが「通常使うプリンタに設定」されている場合にはこの操作は省略できます。

4 プリンタドライバの「プロパティ」で原稿サイズを指定します。

アプリケーションで使用する予定の書類サイズをPP5000Wプリンタドライバのプロパティの「原稿サイズ」で設定します。

5 アプリケーションの【書類設定】コマンドなどで、作成する書類のサイズを指定します。

アプリケーションによっては、（第四章）のプリンタドライバ設定のプロパティダイアログでの「原稿サイズ」設定（⇒P.27）によりアプリケーションで使用する書類サイズが決定して、本操作が不必要なものもあります。

6 アプリケーションで書類を作成します。

通常と同様にアプリケーションで書類を作成してください。

7 【印刷】コマンドでアプリケーションのプリントオプションやプリンタドライバの「プロパティ」で各種設定をしてプリントします。

【印刷】や【プリント】コマンドを選択すると、アプリケーションの持つ各種のプリントオプションを設定できます。また、プリンタドライバの「プロパティ」でプリントするサイズである「用紙サイズ」やその他のオプション(「反転プリント」や「カットマーク」など)も設定できます。

8 スプールされているプリントを中止する場合。

プリントのキャンセルはデスクトップの下方にあるツールバーの右端にプリンタのアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとスプールされているプリントジョブが表示されます。

9 キャンセルしたいジョブをクリックして、【ドキュメント】メニューの【印刷中止】を選択します。

10 PP5000Wがプリント中である場合には、PP5000W本体の「クリア」キーを押してキャンセルします。

■ Microsoft Word 2003での操作例

ここでは、Microsoft Word 2003を例にして操作をします。

1 Word 2003を起動します。

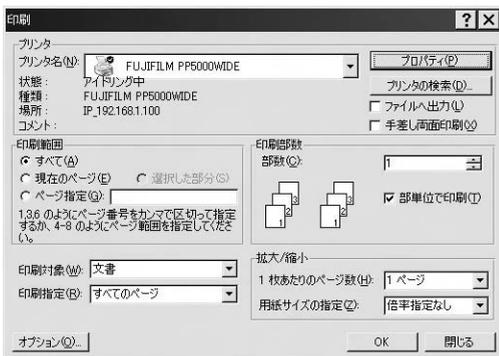
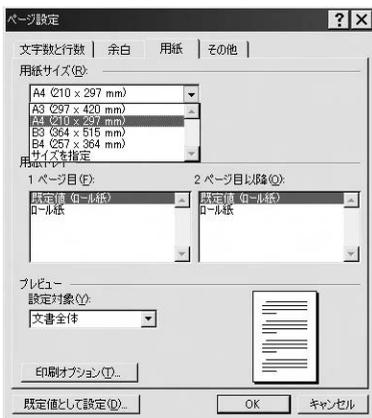
2 【ファイル】－【印刷】コマンドを選択します。

3 PP5000Wを使用プリンタとして選択します。

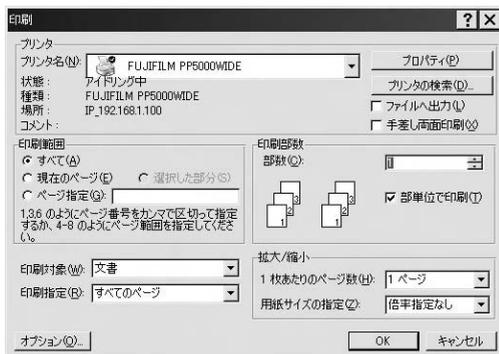
4 「プロパティ」ボタンを押してPP5000Wプリンタドライバのプロパティを表示します。「用紙」タブを選択して、「原稿サイズ」をA4に設定します。

もし、原稿サイズにユーザ定義サイズ用紙しか表示されていない場合には、【スタート】－【設定】－【プリンタ】(XPの場合は【スタート】－【プリンタとFAX】)からPP5000Wプリンタドライバを選び、その【プロパティ】の「用紙」で定型サイズ用紙に変更してください。

5 「OK」ボタンを押してPP5000Wプリンタドライバのプロパティ設定を完了します。

6 「印刷」ダイアログに戻りますので、「閉じる」をクリックします。

7 【ファイル】－【ページ設定】を選択します。「ページ設定」ダイアログを表示されますので、「用紙サイズ」タブを選択します。

8 用紙サイズからA4を選択します。その他、必要であれば「文字数と行数」や「余白」タブを設定し、「OK」をクリックします。

9 文書を作成します。

10 文書作成が完了したら、再度【ファイル】－【印刷】コマンドを選択します。必要に応じて印刷オプションを指定します。また、PP5000Wのプロパティを表示させ、プリントサイズ等を設定して「OK」をクリックすると、プリントを開始します。

2.ユーザ定義サイズ用紙へのプリント方法

新規に登録したユーザ定義サイズ用紙を利用する場合の一般的な操作の流れは以下のようになります。

1 **パソコンを立ち上げます。**

2 **PP5000Wの電源を入れ、ロール紙をセットします。**

必ず、ロール紙の種類(直接感熱紙、熱転写紙、HD紙)を設定します。

3 **「スタート」－「設定」－「プリンタ」を選び(XPの場合は「スタート」－「プリンタとFAX」)、PP5000Wプリンタドライバのプロパティを選びます。**

4 **「用紙」タブを選び、ユーザ定義サイズを選びます。**

もし、ユーザ定義サイズ用紙を登録していなかったり、新規にユーザ定義サイズを作成するには「編集」ボタンを押して、ユーザ定義サイズ用紙の定義を行います。

5 **「原稿サイズ」から「(ユーザ定義サイズ用紙名)／5」を選び「ＯＫ」をクリックします。**

6 **アプリケーションを起動します。**

7 **PP5000Wを使用プリンタとして選択します。**

アプリケーションに使用するプリンタをPP5000Wであることを通知します。これによりアプリケーションはPP5000Wプリンタドライバ内の「原稿サイズ」リストを参照できるようになります。PP5000Wが「通常使うプリンタに設定」されている場合にはこの操作は省略できます。

8 **アプリケーションの【書類設定】コマンドなどで、作成する書類のサイズを指定します。**

アプリケーションによっては、本操作が不必要なものもあります。

9 アプリケーションで書類を作成します。

通常と同様にアプリケーションで書類を作成してください。

10 【印刷】コマンドでアプリケーションのプリントオプションやプリンタドライバの「プロパティ」で各種設定をしてプリントします。

【印刷】や【プリント】コマンドを選択すると、アプリケーションの持つ各種のプリントオプションを設定できます。また、プリンタドライバの「プロパティ」でオプション（「反転プリント」や「カットマーク」など）も設定できます。

11 スプールされているプリントを中止する場合。

プリントのキャンセルはデスクトップの下方にあるツールバーの右端にプリンタのアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとスプールされているプリントジョブが表示されます。

12 キャンセルしたいジョブをクリックして、【ドキュメント】メニューの【印刷中止】を選択します。

13 PP5000Wがプリント中である場合には、PP5000W本体の「クリア」キーを押してキャンセルします。

■Microsoft Word 2003での操作例

ここでは、Microsoft Word 2003を例にして操作をします。

1 「スタート」－「設定」－「プリンタ」（XＰの場合は「スタート」－「プリンタとFAX」）を選びます。

以降2～6でユーザ定義サイズ用紙を作成します。すでにあるユーザ定義サイズ用紙を使用する場合には7以降を行ってください。

2 PP5000Wのプロパティを表示させ「印刷設定」をクリックします。

3 PP5000Wの印刷設定を表示させ「編集」をクリックします。

5 操作方法

4 「用紙サイズ一覧の編集」から「ユーザ定義サイズ」をクリックします。

5 「ユーザ定義サイズ」ダイアログが表示されます。「用紙名」に任意の用紙名、用紙の幅および長さを入力します。

なお、各ユーザ定義サイズ用紙はロール紙のサイズ毎に持つことになります。「登録」ボタンを押すことにより登録されます。

5 操作方法

6

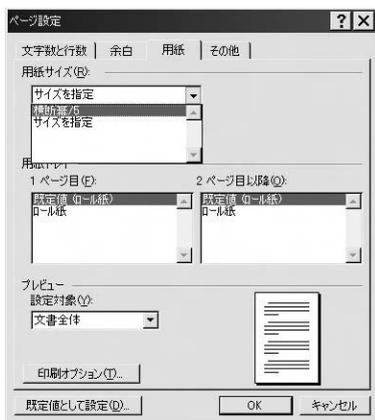
「閉じる」をクリックすると「用紙サイズ一覧の編集」ダイアログに戻るので、「追加」ボタンで用紙サイズ一覧に追加します。「OK」をクリックするとプロパティの「用紙」タブに戻ります。

7

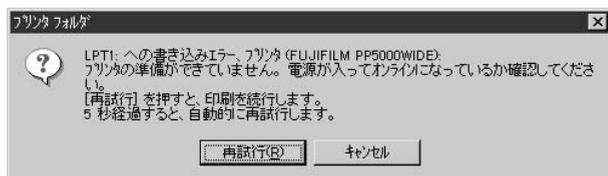
用紙サイズから使用したいユーザ定義サイズを選びます。

8 原稿サイズから「(ユーザ定義サイズ名)／5」を選び、「ＯＫ」をクリックします。

Word 2003で扱える書類サイズは2.6〜558.7mm×2.6〜558.7mmです。そのため、この例のように549.4×2500.0mmの大きさの用紙をそのまま書類サイズにすることはできません。そのため、本操作のように原稿サイズを5分の1の大きさ(109.88×500.0mm)にするとWord 2003でも扱える書類サイズとなります。

9 Word 2003を起動します。以降の作業は基本的には定型サイズ用紙の場合と同じになります。ただし、「ページ設定」は下の図のようにA4とかA3などの定型サイズ用紙は表示されず、ユーザ定義サイズ用紙名になります。

第六章 トラブル

※ここではPP5000Wついて説明します。
PP3000/4000/5000シリーズ全てについて同様に操作してください。

PP5000Wでプリント中に、ロール紙が切れたり、プリンタ本体が障害をおこしたりする場合があります。このような障害が発生した時には、Windowsから以下のようなメッセージが表示されます。このような場合には、PP5000W本体に障害内容が表示されますので、かならず確認してください。表示される内容や対処方法については、PP5000Wの使用説明書をご覧ください。

エラーを解除しても正常に動作しない場合は、PP5000Wの電源スイッチをOFFにし、再度ONにしてください。

USBポートの件

お使いのパソコンに複数のUSBがある場合、プリンタドライバインストール時に設定したUSBポート以外のUSBにPP5000Wを接続し、プリントすると、Windowsから以下のようなエラーメッセージが表示されます。
このような場合、設定したUSBに接続し直すか、プリンタドライバの設定でUSBポートを変更してください。